

平成24年第1回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成24年3月1日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	平成24年3月1日 午前10時7分			議 長 太 田 重 喜	
	散会	平成24年3月1日 午前10時53分			議 長 太 田 重 喜	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	辻 浩 一	出	10番	副 島 孝 裕	出
	2番	山 口 忠 孝	出	11番	田 中 政 司	出
	3番	田 中 平 一 郎	出	12番	織 田 菊 男	出
	4番	山 下 芳 郎	出	13番	神 近 勝 彦	出
	5番	山 口 政 人	出	14番	田 口 好 秋	出
	6番	小 田 寛 之	出	15番	西 村 信 夫	出
	7番	大 島 恒 典	出	16番	平 野 昭 義	出
	8番	梶 原 睦 也	出	17番	山 口 要	出
	9番	園 田 浩 之	出	18番	太 田 重 喜	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	谷口 太一郎	地域づくり・結婚支援課長	山口 久義
	副市長	中島 庸二	福祉課長	
	教育長	杉崎 士郎	健康づくり課長	
	総務部長	中島 直宏	農林課長	中島 憲郎
	企画部長	坂本 健二	学校教育課長	
	健康福祉部長	江口 常雄	収納課長	永江 邦弘
	産業振興部長	一ノ瀬 真	税務課長	坂口 典子
	建設部長	松尾 龍則	観光商工課長	
	教育部長 教育総務課長兼務	中島 文二郎	健康福祉課長	
	会計管理者	田中 明	茶業振興課長	
	総務課長	小野 彰一	建設・新幹線課長	中尾 嘉伸
	財政課長	筒井 保	環境下水道課長	土田 辰良
	市民課長		水道課長	山口 健一郎
	企画企業誘致課長		農業委員会事務局長	古田 三男
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	片山 義郎		

平成24年第1回嬉野市議会定例会議事日程

平成24年3月1日（木）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 議案第1号 嬉野市暴力団排除条例について
- 日程第5 議案第2号 嬉野市印紙類購入基金条例について
- 日程第6 議案第3号 嬉野市子ども及び小学生の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例について
- 日程第7 議案第4号 嬉野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第8 議案第5号 嬉野市税条例の一部を改正する条例について
- 日程第9 議案第6号 嬉野市土地開発基金条例の一部を改正する条例について
- 日程第10 議案第7号 嬉野市公民館条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議案第8号 嬉野市立図書館条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議案第9号 嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第13 議案第10号 嬉野市都市公園条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 議案第11号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第15 議案第12号 嬉野市保育所条例を廃止する条例について
- 日程第16 議案第13号 市道路線の廃止について
- 日程第17 議案第14号 市道路線の認定について
- 日程第18 議案第15号 平成23年度嬉野市一般会計補正予算（第6号）
- 日程第19 議案第16号 平成23年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第20 議案第17号 平成23年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 日程第21 議案第18号 平成23年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）
- 日程第22 議案第19号 平成23年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第23 議案第20号 平成23年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第24 議案第21号 平成23年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）

- 日程第25 議案第22号 平成23年度嬉野市嬉野温泉公衆浴場施設特別会計補正予算（第2号）
- 日程第26 議案第23号 平成23年度嬉野市水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第27 議案第24号 平成24年度嬉野市一般会計予算
- 日程第28 議案第25号 平成24年度嬉野市国民健康保険特別会計予算
- 日程第29 議案第26号 平成24年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第30 議案第27号 平成24年度嬉野市農業集落排水特別会計予算
- 日程第31 議案第28号 平成24年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計予算
- 日程第32 議案第29号 平成24年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第33 議案第30号 平成24年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第34 議案第31号 平成24年度嬉野市嬉野温泉公衆浴場施設特別会計予算
- 日程第35 議案第32号 平成24年度嬉野市水道事業会計予算
- 日程第36 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

午前10時7分 開会

○議長（太田重喜君）

皆さんおはようございます。本日は平成24年3月定例会市議会に御出席いただきまして、まことに御苦労さまでございます。

本定例会市議会は、条例改正や新年度予算を審議する極めて重要な議会でございます。議会といたしましても地域住民のニーズを十分に把握することはもちろん、予算についても十二分に精査していただき、議会としてチェック機能を果たすべく活発な質疑を今議会におきましてもお願いするところでございます。

本日は全員出席であります。定足数に達していますので、ただいまから平成24年第1回嬉野市議会定例会を開会いたします。

今議会の議会運営につきましては、2月28日に議会運営委員会を開催していただきましたので、その結果について報告を求めます。神近勝彦議会運営委員長。

○議会運営委員長（神近勝彦君）

皆さんおはようございます。

先月2月28日に議会運営委員会を開催し、今定例会の会期日程案を協議いたしましたので、その分について御報告を申し上げます。

それでは、平成24年第1回嬉野市議会定例会会期日程（案）。

会期、23日間。本日3月1日から3月23日まで。

日程でございます。

第1日、3月1日木曜日、本会議。開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案の一括上程、提案理由の説明。それから、本会議終了後、委員会、合同委員会となっております。

2日目、3月2日金曜日、委員会。常任委員会。

3日目、4日目につきましては、休会でございます。

5日目、3月5日から3月7日、月、火、水の3日間につきましては常任委員会。

3月8日、本会議。一般質問。今回は15名の議員から一般質問が出ておりますので、5、5、5の3日間というふうにしたいと思っております。ですから、3月8日木曜日と3月12日と3月13日の3日間が一般質問の日程というふうになっております。

戻りますが、3月8日には今回、議案質疑に関しまして通告制というふうなことでやっておりますので、議案質疑の通告を3月8日、5時までというふうにさせていただきます。

3月9日金曜日、この日は中学校の卒業式でございますので、休会といたします。

3月10日、3月11日、休会。

3月12日、13日は、先ほど申し上げましたように一般質問。

3月14日から3月15日、16日、翌週の3月19日までは議案質疑というふうになっております。

ただし、3月16日は小学校の卒業式が午前中ございますので、午後からというふうな形になります。

3月17日、18日は休会でございます。

3月20日も休会。

3月21日は議案質疑というふうに予定しております。

3月22日、休会。

3月23日金曜日、本会議。討論、採決、閉会というふうな日程案とさせていただきます。

○議長（太田重喜君）

議会運営につきましては、ただいま委員長から報告のあったとおりであります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。

これで議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第78条の規定により、会議録署名議員に9番園田浩之議員、10番副島孝裕議員、11番田中政司議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月23日までの23日間にしたいと思ます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は、本日から3月23日までの23日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3．諸般の報告を行います。

本日まで提出されました平成23年陳情第11号、平成24年陳情第1号、第2号及び第3号につきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりです。

次に、去る平成24年2月1日、全国市議会議長会基地協議会第75回総会、2月2日、広域行政圏市議会協議会第43回総会、2月9日、全国市議会議長会第92回評議員会が開催され、また、2月20日には全国高速自動車道市議会協議会第38回定期総会が開催され、私が出席いたしました。

全国市議会議長会基地協議会総会では、総務省自治税務局固定資産税課長、防衛省地方協力局地方協力企画課長の講演の後、平成22年度会計決算、24年度運動方針（案）、24年度歳入歳出予算（案）などが提案され、可決されました。

広域行政圏市議会協議会総会では、「地域主権と広域行政をめぐる最近の動向について」総務省大臣官房審議官の講演があり、また、平成22年度歳入歳出決算及び24年度運動方針（案）並びに24年度歳入歳出予算（案）などが提案、可決されました。

全国市議会議長会第92回評議員会では、黄川田総務副大臣、総務事務次官の講演の後、一般事務報告、7委員会からの事務報告を了承し、24年度歳入歳出予算（案）などが提案、可決されました。

全国高速自動車道市議会協議会総会では、衛藤征士郎高速道路建設推進議員連盟会長が出席され、平成22年度会計決算及び24年度運動方針（案）並びに24年度歳入歳出予算（案）などが提案、可決されました。

なお、総会の資料は議会事務局で管理しておりますので、ごらんください。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第1号 嬉野市暴力団排除条例についてから日程第36．諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてまでを一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（谷口太一郎君）

皆さんおはようございます。ただいま平成24年第1回嬉野市議会が開会になったところでございます。会期中、真摯に努めたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

また、重ねまして嬉野市議会におかれましては、年間を通じて先進的な議会として全国各地から行政視察を受け入れていただいておりますところでございます。嬉野市からの情報発信ということにつきまして御尽力を承っておりますことに心から敬意を表するところでございます。

それでは、提案理由につきまして御説明を申し上げます。

本日、平成24年第1回嬉野市議会定例会の開会に当たり、議員の皆様の日ごろの御活動、御活躍に敬意を表しますとともに、本市行政に対します御尽力と御支援、御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本定例会の開会に際し、私の所信の一端を申し述べ、議員の皆様を初め市民の皆様の御理解と御協力をあわせてお願い申し上げます。

今回は、嬉野市が誕生いたしましたから7年目の当初予算を編成いたしました。嬉野市の誕生以降多くの課題がありましたが、市民の皆様の御理解と御協力を賜り着実に市政を推進できました。この間、行政改革大綱に基づき市の行財政の健全化に努めながら、総合計画に沿って「歓声の聞こえる嬉野市」の実現に向かって全力を尽くしてまいったところでございます。

今期就任以来、一貫して私に課してまいりました市政の基本課題である「歓声の聞こえる地域の再生」、「うれしのブランドづくり」、「あんしん嬉野づくり」、「行財政改革の推進」につきましては、皆様の御支援と御協力を賜りながら着実に推進いたしております。

さて、東日本大震災から間もなく1年になろうとしております。被災地では、瓦れきや福島第一原発の問題など、まだまだ復旧、復興にはほど遠い状況であり、いまだに仮設住宅暮らしを余儀なくされている方々も多数おられます。本市といたしましても、今後も継続的に力強く支援を続けてまいりたいと思っております。

一方、本市を取り巻く状況といたしましては、国の地域主権改革により分権推進への具体化が急がれており、地域の自主性及び自立性が非常に重要になってまいります。しかし、地域主権改革自体の動向が不透明な状況であり、国が責任を放棄し、地方と地域住民に丸投げされることがないように慎重に対応してまいりたいと考えております。

このような中、本市といたしましては、新規施策を数多く導入し、市民の皆様の信頼と御要望にこたえるため、過去のまちづくりの歴史を尊重し、なお一層、積極的に活動を継続していく所存でございます。

まず、「歓声の聞こえる地域の再生」につきましては、いよいよ市内7地区で地域コミュニティの活動が本格的に始まり、活力ある地域づくりが始動いたしました。東日本大震災に

おきましても、人と人が支え合う心、きずな、生きる力に地域コミュニティが大きな役割を果たしております。これからも地域コミュニティの一層の成熟と地域の活性化を目指しながら、各コミュニティ組織に精いっぱい支援をしてまいります。

次に、「うれしのブランドづくり」につきましては、本年度の全国茶品評会で、最高賞である農林水産大臣賞と産地賞を3年連続で獲得されました。3年連続の受賞は珍しく、先ほど開催された全国茶サミット静岡大会でも大変評判になり、生産者や茶業関係者の御努力と関係機関の御指導等が一丸となって「うれしの茶ブランド」の確立を目指した成果であるものと確信いたしております。今後は六次産業化にも積極的に取り組み、嬉野市ならではのブランドづくりに努めてまいります。

次に、「あんしん嬉野づくり」につきましては、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時の相互支援を迅速かつ円滑に行うことを目的に、新幹線西九州ルート沿線4市、東彼杵郡3町及び鹿島市、太良町の9市町とネットワークを構築したところでございます。また、市民への防災情報を迅速かつ正確に提供するため、全市一体的な防災行政無線等の整備を計画いたしております。さらに、消防団員OBの方々を採用し、特定の災害任務だけに従事してもらう消防団支援団員制度を導入して、地域の安全・安心の新しい組織を構築いたします。加えて、地域防災組織の充実や梅雨、台風シーズン等の道路冠水や水路の越流による人家、農地の甚大な被害を防止するため、道路、水路の改修を計画いたしてまいります。

さらに、「行財政改革の推進」につきましては、嬉野市誕生後の第1次行財政改革において、計画以上の成果を上げることができました。引き続き、平成23年度から平成27年度までの5カ年の第2次行財政改革に取り組んでおりまして、再度、各種施策の見直しを行い、国県の厳しい財政状況等に対応しながら効率的な行財政の実現に努めてまいります。

その他の重点施策といたしましても、ひとにやさしい温泉観光地のトップランナーとして、ユニバーサルデザインを取り入れた観光地の整備を推進いたします。また、日本三大美肌の湯の交流も開始しましたので、嬉野温泉のすばらしい泉質をアピールしながら集客に努力してまいります。なお、海外からの観光客につきましては依然厳しい状況ではございますが、2月に嬉野観光協会の交流が実現いたしました釜谷（プゴク）温泉のある韓国はもちろん、中国や台湾など東アジアを中心に温泉観光をアピールし、積極的な誘致活動を行ってまいります。

教育面におきましても、新年度に児童・生徒のより快適な学校生活を実現するため、小・中学校の普通教室に空調設備を導入し、学習環境の整備を図ります。また、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育てる施策を推進いたしてまいります。

保健福祉の振興につきましては、乳児から高齢者まで、すべての世代が安心して暮らせる保健福祉事業を推進し、相談事業から健診事業までのきめ細かな事業に取り組みをいたします。加えて、働き盛りの方々のがん予防と健康増進のため、九州では初となる30歳時のピロ

リ菌検査費用の助成を導入いたします。また、子どもたちの医療費の助成を中学生まで拡大し、子育て支援の充実に努めてまいります。

以上、所信の一端を申し上げましたが、改めまして、今後とも議会並びに市民の皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提出いたしましたそれぞれの議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

条例の制定3件、条例の一部改正8件、条例の廃止1件、市道路線の廃止1件、市道路線の認定1件、平成23年度補正予算9件、平成24年度当初予算9件、人権擁護委員候補者の推薦について1件の全部で33件について、御審議をお願い申し上げます。

議案第1号から議案第3号の3議案は条例の制定でございます。

まず、議案第1号 嬉野市暴力団排除条例については、安全で平穏な市民生活の確保と社会経済の健全な発展に寄与するため、市と市民が一体となって市民生活や社会経済の場から暴力団を排除しようとするものでございます。

議案第2号 嬉野市印紙類購入基金条例については、一般旅券の発給申請等に必要な収入印紙等の購入や売りさばき事務を円滑かつ効率的に行うため、基金を設置するものでございます。

議案第3号 嬉野市子ども及び小学生の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例については、医療費の助成を中学生まで拡大し子育て支援のさらなる充実に図るため、所要の改正を行うものでございます。

議案第4号から議案第11号までの8議案は条例の一部改正でございます。

議案第4号 嬉野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、まず、行政嘱託員の報酬につきまして、第2次行財政改革にかんがみ、報酬を減額するものでございます。次に、消防団の支援団員制度の創設に伴い、新たに報酬等を追加するものでございます。また、体育指導委員につきましては、スポーツ基本法の改正に伴い、委員名称を変更するものでございます。最後に、水道料金等収納嘱託員につきましては、開閉栓の職務を追加するため、所要の改正を行うものでございます。

議案第5号 嬉野市税条例の一部を改正する条例については、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方開発事業団を削除するものでございます。また、東日本大震災に関連する法律の施行に伴う大震災に係る雑損控除の特例措置及び緊急に実施する防災施策の財源確保のための臨時措置として、個人住民税均等割の標準税率を500円引き上げるため、所要の改正を行うものでございます。

議案第6号 嬉野市土地開発基金条例の一部を改正する条例については、基金の額を適正規模に減額し有効活用を図るため、所要の改正を行うものでございます。

議案第7号 嬉野市公民館条例の一部を改正する条例については、地域主権一括法の施行

に伴う社会教育法の改正により、公民館運営審議会委員の任命基準について、所要の改正を行うものでございます。

議案第8号 嬉野市立図書館条例の一部を改正する条例については、地域主権一括法の施行に伴う図書館法の改正により、図書館協議会委員の任命基準について、所要の改正を行うものでございます。

議案第9号 嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例については、地域主権改革関連法の施行に伴う基本構想策定義務の撤廃等及び委託業者以外の者によるごみステーションからの再生資源物の収集・運搬の禁止、並びに小規模事業者用の事業系指定袋の小及び犬・猫等の死体の処分料を追加するため、所要の改正を行うものでございます。

議案第10号 嬉野市都市公園条例の一部を改正する条例については、新たに土地区画整理事業地区内の4公園を都市公園として管理するため、所要の改正を行うものでございます。

議案第11号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例については、地域主権一括法の施行に伴う公営住宅法の改正により、入居者の資格基準について、所要の改正を行うものでございます。

議案第12号 嬉野市保育所条例を廃止する条例については、嬉野市保育所の完全民営化に伴い、保育所としての用途を廃止するものでございます。

次に、議案第13号 市道路線の廃止について及び議案第14号 市道路線の認定についての2議案は、道路法第10条第3項及び第8条第2項の規定により、土地区画整理事業地区内で接続する現行の市道72路線を廃止し、新たに市道68路線を認定するため、議会の議決をお願いするものでございます。

続きまして、議案第15号から議案第23号までは、平成23年度嬉野市一般会計を初めとした各特別会計及び水道事業会計の補正予算に関するものでございます。

まず初めに、一般会計予算について御説明を申し上げます。

歳入歳出総額に3億9,542万2,000円を追加し、補正後の予算総額を134億4,258万5,000円とするもので、当初予算規模に比べ11.4%の増となります。また、前年度同期の予算規模と比較すると6.8%の増となっておるところでございます。

今回の補正の内容は、震災からの本格的な復興予算と位置づけされた国の第3次補正予算に係る全国的に緊急に実施する必要性が高い緊急防災・減災事業等の追加補正を行うものでございます。

主な歳出補正につきましては、塩田小学校耐震補強改修に2億2,454万7,000円、嬉野中学校武道場等建設に1億3,433万5,000円、全天候型屋内多目的広場整備に5,067万5,000円の増額や土地開発基金を適正規模に減額し、公共施設建設基金に1億5,000万円、地域づくり推進事業基金に1億3,589万9,000円の積み立てを行っております。

一方、歳入につきましては、国庫支出金で社会資本整備総合交付金、塩田小学校耐震補強改修事業、嬉野中学校武道場建設事業等により1,186万5,000円、市債で合併特例債3億8,940万円の増加となっております。また、財政調整基金繰り入れを2億5,522万9,000円減額しております。

続きまして、議案第16号から議案第23号までの特別会計及び水道事業会計について、御説明申し上げます。

国民健康保険特別会計につきましては、前期高齢者交付金及び共同事業拠出金を所要額調整により、5,259万2,000円の減額、後期高齢者医療特別会計につきましては、後期高齢者医療広域連合の納付額の確定に伴い保険基盤安定化繰入金等を減額し、523万2,000円を減額補正するものでございます。

農業集落排水特別会計につきましては、公債費の借入利子の確定や事業費の管理費、整備費などの所要額調整により、1,777万円の減額、公共下水道事業費特別会計につきましても、公債費の借入利子の確定や事業費の管理などの所要額調整により、485万6,000円の減額補正を行うものでございます。

次に、嬉野第七土地区画整理事業費特別会計及び嬉野第八土地区画整理事業費特別会計につきましては、保留地処分に伴う162万1,000円及び318万3,000円の減額補正でございます。

嬉野温泉公衆浴場施設特別会計につきましては、使用料の所要額調整により639万円の減額を行うものでございます。

最後に、水道事業会計につきましては、水道事業収益のうち水道使用量の減少に伴い、営業収益1,474万円の減額と営業外収益354万1,000円の増額により、補正後の予算額を7億1,967万9,000円とし、水道事業費用のうち事業費用の確定に伴い、営業費用2,480万円を減額し、補正後の予算額を6億5,573万3,000円とするものでございます。また、資本的支出のうち事業費確定による建設改良費310万円の減額と営業設備費10万円の増額により、補正後の予算額を3億4,706万6,000円とするものでございます。

続きまして、議案第24号から議案第32号までは、平成24年度嬉野市一般会計を初めとした特別会計及び水道事業会計の当初予算に関するものでございます。

それでは、新年度予算案の概要につきまして御説明を申し上げます。

まず初めに、本市の予算編成に大きな影響を及ぼす国、県の予算につきまして、そのあらましを申し上げます。

平成24年度国の予算につきましては、東日本大震災からの復興、経済分野のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の5つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組み、あわせて地域主権改革を確実に推進するとともに、既存予算の不断の見直しを行うことを基本として編成されており、一般会計の規模は、前年度対比で2.2%の減となっております。

一方、県の予算は、「行財政運営計画2011」に基づき、職員一人一人が政策創造の主役として、県民の生の声、おのおのの事業の課題や最適な実施主体のあり方などを的確に分析し、県民満足度を高める施策を編み出すことによって、限られた資源の重点的、効率的配分を行い、真に県民の期待にこたえ得る予算を基本として編成されており、一般会計の規模は、前年度対比で1.3%の減となっております。

このような国、県の予算編成の動向を踏まえながら、新年度の本市の財政見通しを御説明申し上げます。

まず、歳入面でございますが、昨今の厳しい社会経済情勢から市税等の収入の増加は期待できず、また、歳出面におきましても、社会保障関係費等が速いスピードで増加していくなど、多くの財政需要を抱え依然厳しい財政状況ではありますが、総合計画を着実に推進するため、重点的、効率的に予算を配分したところでございます。また、市民の皆様の御要望などにも十分配慮し、可能な限り施策に反映するよう努めたところでございます。

この結果、平成24年度当初予算の規模は、一般会計131億8,200万円、特別会計59億5,736万7,000円でございます。これを前年度の当初予算と比較いたしますと、一般会計9.3%の増、特別会計0.4%の減となっております。

一般会計予算の目的別構成割合の大きなものとして、歳出では、民生費の33.7%、教育費の12.8%、土木費の9.9%でございます。歳入では、地方交付税が34.8%、市税が18.1%、市債が13.7%、国庫支出金が12.3%となっております。

なお、主要な事業概要につきましては、お手元に配付させていただきました「主要な事業の説明書」のとおりでございますが、歳入、歳出の概要について御説明を申し上げます。

歳入予算につきましては、自主財源の根幹を占める市税収入は、前年度比0.7%減の23億8,330万円を計上いたしました。市税のうち個人市民税は、年少扶養親族に対する扶養控除の廃止などにより、前年度比7.6%増、固定資産税は、評価がえに当たり、地価の下落や家屋評価額の引き下げ等による大幅な減収が見込まれることなどから、前年度比7.2%減といたしました。その他、地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金等は、ともに経済情勢や収入状況、地方財政計画等を参考に積算して計上いたしております。地方特例交付金は、年少扶養控除の廃止等による地方税増収分での措置に整理される部分があることから、前年度比80.5%減といたしました。地方交付税のうち普通交付税につきましては、地方財政計画、市税の収入状況などを勘案し、合計で前年度より1億1,000万円の増となっております。国県支出金は、歳出事業に対応する所定の額を計上しておるところでございます。繰入金につきましては、財政調整基金、減債基金、公共施設建設基金及び学校建設基金から繰り入れております。市債は、前年度比96.3%増となり、臨時財政対策債が前年度比10.9%減、合併特例債は前年度より8億7,450万円の増を見込んでおります。そのほか東日本大震災の教訓を踏まえ、緊急に実施する緊急防災・減災事業債を7,910万円計上いたしているところでござ

います。

次に、歳出予算につきましては、新規施策や主要な事業を中心に、総合計画の政策分野に沿って御説明申し上げます。

まず、「生涯を通じて健康でいきいきと暮らせる福祉のまち」づくりでございます。

少子高齢社会が進行する中で、すべての市民の方が住みなれた地域で心豊かに生活を送られるように、また、支援を必要とする高齢者、障害者や子育て世帯を地域全体で支え合い、生き生きと健康に過ごせるまちづくりに取り組んでまいります。

予防接種につきましては、疾病の重篤性の高い子宮頸がん、H i b（ヒブ）、小児用肺炎球菌、高齢者用肺炎球菌について、接種に係る費用助成を引き続き実施いたします。また、新たに健康増進事業の項目にピロリ菌検査を追加いたしました。そのほか、中学3年生までの医療費助成や放課後児童健全育成事業、子育てファミリー・サポート事業の円滑な運営支援を行い、安心して子どもを生み育てる環境の整備に努めてまいります。

高齢者対策といたしましては、食の自立支援事業などの在宅福祉サービスの実施や地域包括支援センターを中心とした総合相談支援や介護予防事業を引き続き推進するほか、地域における認知症支援体制を強化してまいりたいと考えております。

障害者福祉につきましては、障害者自立支援法に基づいたサービスの提供などに努めてまいります。

次に、「自然と共生する安全で快適なまち」づくりでございます。

豊かな市民生活を送るための基盤整備は、まちづくりの基礎であるという観点から、自然環境を守り活用した快適な住環境を備えたまちづくりを進めてまいります。道路橋梁整備では、道路改良事業や橋りょう長寿命化事業などを行い、道路の安全性、利便性の向上に努めます。環境・安全では、限りあるエネルギーの有効利用を図り、環境に優しい循環型社会の構築を目指して、再生可能エネルギー設備等設置経費への補助、小水力発電調査研究を継続して実施いたします。また、公園整備につきましては、全天候型屋内多目的広場整備や総合運動公園施設改修などを行い、触れ合い、親しみの持てる交流の場、また、災害時には避難地としての機能を持つ公園として、さらにはスポーツによる市内外はもとより県外からも広く集客拡大する魅力的な公園整備を進めてまいります。そのほか、デジタル通信による防災行政無線整備などを実施し、災害に強く、だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

次に、「もてなしの心で結ぶ交流のまち」づくりでございます。

中心市街地でのにぎわいの創出事業やイベント開催に対する補助など、商業等活性化を総合的に支援し、嬉野市の魅力向上に努めてまいります。また、東アジア向けの情報発信やプロモーション活動を強化し、西九州の観光拠点としての魅力を高めるよう取り組んでまいります。

次に、「豊かな自然、伝統、文化を守り、人を育てるまち」づくりでございます。

子どもたちが安心して学べる教育施設の整備や教育力の向上を目指し、さまざまな施策を推進してまいります。また、価値ある歴史文化を後世に残すため、環境の整備や支援に努めてまいります。学校教育につきましては、特色ある学校づくりとして、校長先生の知恵袋事業や日本が世界に誇る文化を体験してもらう出前学校歌舞伎を開催し、将来を担う子どもたちの育成に努めてまいります。また、学校生活における集団不適應などのさまざまな問題解決のために、生活サポート支援員の配置や、適応指導教室におけるきめ細かな指導等に引き続き取り組んでまいります。学校施設整備につきましては、塩田中学校の改築や空調設備の導入など、教育環境の整備充実を図ってまいります。

体育・文化施設整備では、市民が集まり体育・文化事業を行う施設として、社会文化体育館の建設を進めてまいります。

文化財保存整備では、伝統的建造物群保存地区の保存整備に引き続き取り組んでまいります。

次に、「地の利を生かし地域の力を発揮する活力のまち」づくりでございます。

農業から商工業まで、嬉野市の特性を生かしたブランド確立を目指し、他産地との差別化を進めてまいります。農業につきましては、地域の特性を生かした野菜などの特産物の産地育成強化策として、うれしのブランド野菜づくりや茶端境期支援対策などを推進してまいります。また、うれしの茶にかかわる資料を収集、保存するとともに、調査研究の成果を展示、交流の場としてうれしの茶交流館建設を進めてまいります。林業につきましては、森林整備等を行い、林業経営の振興を図るとともに、地球温暖化防止や水源の涵養など、森林の持つ多面的な機能の発揮、活用に努めるほか、近年増加している有害鳥獣による農作物等への被害防止対策を強化して取り組んでまいります。

また、中小企業支援策といたしまして、中小企業融資資金貸付金制度を引き続き実施し、中小企業者の健全な事業の振興及び発展を推進してまいります。

続きまして、特別会計について御説明を申し上げます。

まず、国民健康保険特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で2.5%の増となっております。主な内容といたしましては、後期高齢者支援金や介護納付金の増となっております。

後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で6.2%の増となっております。主な内容といたしましては、医療費の伸びに伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増でございます。

次に、農業集落排水特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で22.2%の減となっております。主な内容といたしましては、五町田・谷所地区の事業完了に伴い大幅な減額となっております。

公共下水道事業費特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で12.1%の増となっております。主な内容といたしましては、管路布設拡張工事により事業費の増となっておりますのでございます。

次に、嬉野第七土地区画整理事業費特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で1.2%の減となっており、公債費の減が主な要因でございます。

嬉野第八土地区画整理事業費特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で1.6%の増となっており、換地処分に伴う清算事務費が主なものでございます。

嬉野温泉公衆浴場施設特別会計につきましては、歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算比で12.3%の減となっております。光熱水費等の減が主な要因でございます。

次に、水道事業会計につきまして御説明を申し上げます。

給水件数を9,730件、年間総給水量256万9,000トンと見込み、収益的収入は、総額を6億1,215万4,000円とし、前年度当初予算比は、率で15.9%、額で1億1,572万6,000円の減となっております。

収益的支出は、総額を6億3,644万6,000円とし、前年度当初予算比では、率で6.3%、額で4,303万7,000円の減となっております。

一方、資本的収入は、総額を2,403万4,000円とし、前年度当初予算比は、率で76.9%、額で7,982万2,000円の減となっております。

資本的支出は、総額を1億8,617万1,000円とし、前年度当初予算比は、率で38.4%、額で1億1,591万3,000円の減となっております。そこで、資本的収入が資本的支出に対して生じる不足額1億6,213万7,000円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんするものでございます。

平成24年度も引き続き水道施設の適正な管理を行い、水質の保全と水道水の安定供給に努めるとともに、事業の健全な運営に努力する所存でございます。

最後に、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について御説明を申し上げます。

現在お務めいただいております人権擁護委員の中島雪枝氏が、平成24年6月30日の任期満了に伴い、退任の意思を示されているため、新たに杉光貴美子氏を推薦いたしたいので、議会の意見を求めるものでございます。

杉光氏は、塩田町大字馬場下甲728番地（塩田区）に御在住で、昭和38年1月6日生まれの49歳でございます。人格高潔で、地域福祉の向上に御尽力いただいております。人権擁護委員としてまことにふさわしい人物と存じ上げますので、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

以上で、本議会に御提案申し上げました議案など33件について概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容につきましては、各担当課長から説明させますので、何とぞ慎重な御審議をお願い申し上げます。

最後になりますが、今議会では15名の議員の皆様より一般質問をお受けいたしておりまして、誠実にお答え申し上げたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で市議会定例会の提案理由とさせていただきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

○議長（太田重喜君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。議案第1号から諮問第1号までの33件につきましては、委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第1号から諮問第1号までの33件につきましては、委員会付託を省略することに決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時53分 散会